

平成24年度 東林地区地域活性化事業交付金決定事業の概要と評価

申請事業名	松南自治会活性化事業	【 No. 1 】
申請団体	松南自治会	
事業目的等	<p>地域の行事への参加、地域住民との交流、自分自身の健康増進等を自治会が先頭に立って行うことにより、隣近所誘い合い、家族の後押しを受けて、参加する機運を盛り上げることとなります。</p> <p>併せて自治会への理解と再認識が得られ、自治会への加入・協力が増大する。</p>	
交付決定日	平成24年 6月 7日	
交付決定金額	43,000 円	(全体事業費 56,034 円)
団体実績報告	<p>◇事業実績</p> <p>(1)健康ウォークの開催 11月10日18名の参加者で県立相模原公園・市立相模原麻溝公園までゆったりと歩くウォーキングを開催。</p> <p>(2)ノルディック・ウォーキング講習会の開催 第1回講習会 5月23日14名参加 松ヶ枝公園にて基礎講習 第2回講習会10月11日17名参加 松ヶ枝公園～林間公園を往復</p> <p>◇事業成果 健康ウォーク、ノルディック・ウォーキング講習会いずれも会員の健康増進と基礎体力の維持、会員相互の親睦・連帯を目的として開催。会員はそれぞれの開催趣旨を理解され、会員個人に適した催しに参加することができ、幅広い会員層からの参加となった。特にノルディック・ウォーキング講習会は参加者が第1回に比し第2回は増員となり、会員から次年度以降の継続の強い要望があった。</p> <p>◇自己評価 高齢者の方でも、若干健康・歩行に不安のある方でも無理なく参加でき、終了時には参加者皆さんが満足感に満ち溢れた表情であった。 自治会として、今後も積極的に推進すべきものであり、また趣向も一段と凝らして会員の幅広い支持を取り付けて行っていきたいと考える。</p>	
市 評 価	<p>・多くの地域住民が参加されており、自治会活動の活性化を図るとともに、地域住民の親睦交流を深める取り組みであった。</p> <p>・子どもから高齢者までの幅広い層に参加を呼びかけるなど、公共的活動への参加を促進する取り組みであった。</p>	
備 考		

平成24年度 東林地区地域活性化事業交付金決定事業の概要と評価

申請事業名	翠ヶ丘自治会活性化事業	【 No. 2 】
申請団体	翠ヶ丘自治会	
事業目的等	自治会員の親睦交流と助け合いの心を育てるとともに、自治会加入率の増加を目指す。	
交付決定日	平成24年 6月 7日	
交付決定金額	236,000 円	(全体事業費 236,000 円)
団体実績報告	<p>◇事業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・購入したブルゾンは、自治会理事及びボランティア員に支給し、各種集会及び行事で着用。 ・防犯パトロール(歳末含む)、子供・高齢者の見守り活動。 ・自主防災訓練、餅つき大会、焼き芋大会等の自治会行事。 ・ふるさと祭り、体育祭、地区防災訓練等の東林地区行事。 <p>◇事業成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色が目立つため、何かあった場合に子供の目印となる。 ・また、地区防犯にも威力を発揮したと思われる。 <p>◇自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色が目立つため、スタッフがどこにいたかがすぐに分かり、各行事の運営もスムーズになった。しかし、本ブルゾンは通気性が悪く、夏の着用には不向きであった。 	
市評価	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの地域住民が参加されており、自治会活動の活性化を図るとともに、地域住民の親睦交流を深める取り組みであった。 ・自治会役員等が主体となって周知活動を強化するなど、公共的活動への参加を促進する取り組みであった。 	
備考		

平成24年度 東林地区地域活性化事業交付金決定事業の概要と評価

申請事業名	芸術文化振興事業	【 No. 3 】
申請団体	ピュアサウンズ	
事業目的等	地域の触れ合いの場の提供するとともに、地域の音楽文化の向上を担う。	
交付決定日	平成24年 6月 7日	
交付決定金額	126,000 円	(全体事業費 132,657 円)
団体実績報告	<p>◇事業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年10月20日おださがプラザにおいてマンドリン演奏会を開催した。 ・来場者数140名(定員140名)は、老人ホーム、デイサービス等のふくし施設の入居者や利用者、東林地区、小田急相模原駅周辺の方々であった。 <p>◇事業成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来場者が、老人ホーム等の福祉施設の入居者、デイサービス利用者や関係者、東林地区、小田急相模原駅周辺にお住まいの方々であり、ご近所同士やお知り合いの方々と誘い合って来ていただいた。 ・一緒に歌っていただいたり手拍子をしていただいたりして客席とステージがいったいとなって楽しんでいただいた。 ・アンコールも積極的な声があり、帰りには、演奏した曲を口ずさみながらお帰りになったり、曲の思い出話をなさっていらっしゃる方をみかけた。 <p>◇自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の目的を十二分に達成したと確信しています。 	
市評価	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の音楽文化の活性化を図るとともに、地域のふれあいや親睦交流が深められた取り組みであった。 ・公共的活動団体等の連携の強化が図られる取り組みであった。 	
備考		

平成24年度 東林地区地域活性化事業交付金決定事業の概要と評価

申請事業名	地域ボランティア促進活動	【 No. 4 】
申請団体	東林めだかの学校	
事業目的等	「話し方」「聴き方」等を学び、最終目的は、その成果を活かして高齢者のコミュニティ(絆)づくり、児童の健全育成、高齢者に対する福祉活動、ボランティア活動へと発展させ地域に貢献する。	
交付決定日	平成24年 6月 7日	
交付決定金額	211,000 円	(全体事業費 211,000 円)
団体実績報告	<p>◇事業実績</p> <p>1. 今年度は、ビデオでふるさと民話の紹介と併せ、特に歴史的建造物等の建立由来・経緯にウェイトを掛けて、地元の先輩諸氏から口伝により情報収集し制作した。</p> <p>2. 上鶴間、相南、東林間地区等の開発・歴史の一端紹介ビデオを制作したが、地元関係者の関心が強く積極的に参画(情報提供)してもらいその点でも意義深かった。</p> <p>◇事業成果</p> <p>1. 今年度は、合計6本のビデオを制作し、上鶴間小学校朝会、東林ふくしまつり、東林文化祭等にて上映した。そのことにより地元先達の地域開発の苦勞、歴史などを再認識してもらう事ができた。</p> <p>2. 今後については、自治会長から要望を受けており様々な機会を捉えて広般に紹介する。また、ビデオ貸出希望先にはそれに対しても応えていき地域文化伝承に寄与したい。</p> <p>◇自己評価</p> <p>1. ビデオ制作にあたり情報収集など駆け回ったが、完成後は情報提供等でお手伝いいただいた地元の方々から感謝され満足している。</p> <p>2. この活動は、1年間というロングランである上、各作品が完成するまでに編集会議・試写会を重ね練成に向け苦心した。</p>	
市評価	<p>・子どもから高齢者までの多くの地域住民が参加されており、地域活動の活性化を図るとともに、地域住民の親睦交流を深める取り組みであった。</p> <p>・学びの成果を活かして活動を実施するなど、地域文化の伝承を促進する取り組みであった。</p>	
備考		

平成24年度 東林地区地域活性化事業交付金決定事業の概要と評価

申請事業名	南自治会活性化事業	【 No. 5 】
申請団体	南自治会	
事業目的等	自治会員の親睦交流と助け合いの心を育てるとともに、自治会加入率の増加を目指す。	
交付決定日	平成24年 6月29日	
交付決定金額	194,000 円	(全体事業費 215,250 円)
団体実績報告	<p>◇事業実績</p> <p>各種行事に使用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新年賀詞交換会 ・春のつどい ・納涼大会 ・秋のつどい ・年末特別警戒パトロール ・会館内各種行事 <p>◇事業成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種行事に多数の会員が参加できた。 ・高齢者の体調管理に役立った。 ・会館内での会合等に於ける充実が図れた。 <p>◇自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員が机・椅子を利用する事により、参加者から参加が楽になった等、評判は上々であった。今後の活動に期待がもてる。 	
市評価	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの地域住民が参加されており、自治会活動の活性化を図るとともに、地域住民の親睦交流を深める取り組みであった。 ・自治会と地域団体等が協力して実施するなど、公共的活動への参加を促進する取り組みであった。 	
備考		

平成24年度 東林地区地域活性化事業交付金決定事業の概要と評価

申請事業名	ルネ東林間自治会活性化事業	【 No. 6 】
申請団体	ルネ東林間自治会	
事業目的等	自治会員の行事を通じて住民の出会い、ふれあいを作り、自治会員の増加を図るため。	
交付決定日	平成24年 6月29日	
交付決定金額	198,000 円	(全体事業費 248,525 円)
団体実績報告	<p>◇事業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ルネ夏祭り、新春ふれあいの集い、餅つき大会などのイベントで備品が整い自治会活動の活性化と地域住民の親睦が図れた。 <p>◇事業成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会員の親睦が図れ、地域住民の協力・助け合いの心が育まれた。自治会活動への参加意識が高まった。 <p>◇自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金を効果的に活用することが出来た。 	
市評価	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの地域住民が参加されており、自治会活動の活性化を図るとともに、地域住民の親睦交流を深める取り組みであった。 ・子どもから高齢者までの幅広い層に参加を呼びかけるなど、公共的活動への参加を促進する取り組みであった。 	
備考		

平成24年度 東林地区地域活性化事業交付金決定事業の概要と評価

申請事業名	林間自治会活性化事業	【 No. 7 】
申請団体	林間自治会	
事業目的等	自治会員相互の交流と連帯感の醸成し、自治会加入促進を図る。	
交付決定日	平成24年 6月29日	
交付決定金額	160,000 円	(全体事業費 269,884 円)
団体実績報告	<p>◇事業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ハッピータウンまつり」 10月28日(日)実施・参加者49名 救出救護、炊き出し訓練、災害時料理教室、親睦会実施 (協力:南消防署東林分署、消防団第7分署の方々) ・「餅つき大会」 12月2日(日)実施・参加者220名 <p>◇事業成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員相互の親睦交流がより深められた。 ・自治会への参加意識が非常に高まった。 ・今年は、子ども会の協力を得られ若い層の方々の参加が多く見られた。 <p>◇自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金を有効に活用する事が出来た。 ・年々参加者が増え、自治会の活性化が図れた。 ・「ハッピータウンまつり」は、雨にもかかわらず49名もの参加協力があった。準備も万全、チームワークの良さで、計画した内容を順調に実施できたことは喜ばしいことだ。 	
市 評 価	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの地域住民が参加されており、自治会活動の活性化を図るとともに、地域住民の親睦交流を深める取り組みであった。 ・子どもから高齢者までの幅広い層に参加を呼びかけるなど、公共的活動への参加を促進する取り組みであった。 	
備 考		

平成24年度 東林地区地域活性化事業交付金決定事業の概要と評価

申請事業名	相和自治会活性化事業	【 No. 8 】
申請団体	相和自治会	
事業目的等	自治会員の親睦交流と助け合いの心を育てるとともに、自治会加入率の増加を目指す。	
交付決定日	平成24年10月 4日	
交付決定金額	78,000 円	(全体事業費 78,750 円)
団体実績報告	<p>◇事業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練を行い、自治会、老人会、子ども会の方々が参加し、地域活動の活性化と三者団体の交流親睦が図られた。有意義な訓練ができた。 <p>◇事業成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会役員以外の参加と協力が得られ、今後の地域活動への参加が大いに期待できる。 <p>◇自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金を効果的に活用することが出来た。 	
市 評 価	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの地域住民が参加されており、自治会活動の活性化を図るとともに、地域住民の親睦交流を深める取り組みであった。 ・自治会役員等が主体となって周知活動を強化するなど、公共的活動への参加を促進する取り組みであった。 	
備 考		

平成24年度 東林地区地域活性化事業交付金決定事業の概要と評価

申請事業名	東林間自治会活性化事業	【 No. 9 】
申請団体	東林間自治会	
事業目的等	自治会として会員に自助の考えを広く持ってもらうための方策が必要と考える。	
交付決定日	平成24年10月 4日	
交付決定金額	391,000 円	(全体事業費 391,060 円)
団体実績報告	<p>◇事業実績</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日時:平成24年11月10日(土)午前10時から12時 2. 場所:東林間児童館 3. 参加人数:41人 4. 内容:①ビデオによる家具の転倒防止策学習 ②家具の転倒防止金具取付の実習 <p>◇事業成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業は自治会員が自治会へ参加していることのメリットを目に見える形にした。また、日ごろの自治会の防災・減災活動の様子的一端を会員に知らせることが出来た。 ・本事業を通して、自助、共助(自治会加入も含めて)の大切さを訴えることができた <p>◇自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域活性化事業交付金制度の補助金を効果的に活用出来た。今後も同様の事業を継続して実施していく必要を感じた。 	
市 評 価	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの地域住民が参加されており、自治会活動の活性化を図るとともに、地域住民の親睦交流を深める取り組みであった。 ・自治会と地域団体等が協力して実施するなど、公共的活動への参加を促進する取り組みであった。 	
備 考		

平成24年度 東林地区地域活性化事業交付金決定事業の概要と評価

申請事業名	自治会活動等PR事業	【 No. 10 】
申請団体	東林地区自治会連合会	
事業目的等	自治会活動や地域防災活動の大切さや重要性について、意識の高揚を図るとともに、自治会加入の促進を図る。	
交付決定日	平成24年11月15日	
交付決定金額	400,000 円	(全体事業費 400,000 円)
団体実績報告	<p>◇事業実績</p> <p>東林地区の自治会や地域団体の活動チラシの作成配布を実施した。</p> <p>発行部数: 25,000部 (PRチラシ: A3、上質紙、カラー)</p> <p>配布方法: ①ポスティング(業者委託)にて全戸配布 20,000部</p> <p style="padding-left: 20px;">②地域団体や催しでの配布 4,000部</p> <p style="padding-left: 20px;">③転入者(毎月約60人)への配布 1,000部</p> <p>◇事業成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東林地区内の自治会活動や地域活動の大切さや重要性を、地域住民に広く周知することができた。 ・PRチラシを全戸配布することにより、自治会に入るきっかけを作ることができた。 <p>◇自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会活動や地域活動の大切さや重要性について、意識の高揚を図ることができた。 ・自治会の加入促進を図るとともに、地域活動の活性化を図る機運が高まった。 	
市評価	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会活動や地域活動の大切さや重要性を広く周知するなど、公共的な活動への参加を促進する取り組みであった。 ・自治会の加入促進を図るとともに、地域活動の活性化を図る取り組みであった。 	
備考		

平成24年度 東林地区地域活性化事業交付金決定事業の概要と評価

申請事業名	アネックス自治会活性化事業	【 No. 11 】
申請団体	ライフコア東林間アネックス自治会	
事業目的等	住民参加の活動を継続・拡大していく事は、住民相互の交流が促進され、住民の連携を絆をつくるために寄与するとともに助け合いの心を育成でき、引いては、自治会活動の活発化につながると考える。	
交付決定日	平成24年12月11日	
交付決定金額	165,000 円	(全体事業費 201,827 円)
団体実績報告	<p>◇事業実績</p> <p>1. 住民交流活性化活動</p> <p>1) 劣化した機材の補充を行い、餅つき大会を継続実施し、住民の約70%の参加があり、実行支援に20名以上のサポーターの協力を得た。</p> <p>2) 四方幕付きテントを購入することにより、冬季も含め、一年を通して利用可能な屋外拠点を整備することができた。</p> <p>3) 自治会活動を行う場合、自治会名記入のブルゾンを着用する事により、自治会活動が容易に理解されるようになった。</p> <p>◇事業成果</p> <p>1. 住民交流活性化活動</p> <p>1) 餅つき大会を継続して開催する事により、住民相互のコミュニケーションの場を確保することが出来た。</p> <p>2) 年間を通して利用可能な屋外拠点を整備することが出来、屋外の活動が容易に実施できるようになった。</p> <p>3) 自治会活動に、役員及びサポーターがブルゾンを着用する事により、自治会活動が容易に理解されるようになった。</p> <p>◇自己評価</p> <p>1. 住民交流活性化活動</p> <p>1) 多くの住民及びサポーターの参加が得られ、住民相互のコミュニケーションが図れた。今後はコミュニケーションの場の拡大と参加率の向上が課題である。</p> <p>2) 一年を通して使用できる屋外拠点用のテントが準備できた。今後はこれを活用してどのような活動を展開するかが今後の課題である。</p> <p>3) 自治会名入りブルゾンを着用する事により、自治会活動が容易にアピールできるようになった。</p> <p>ほかのアピール方法の発掘が今後の課題。</p>	
市評価	<p>・多くの地域住民が参加されており、自治会活動の活性化を図るとともに、地域住民の親睦交流を深める取り組みであった。</p> <p>・自治会役員等が主体となって周知活動を強化するなど、公共的活動への参加を促進する取り組みであった。</p>	
備考		